

平成 21 年度 春期 初級システムアドミニストレータ試験 解答例

午後試験

問番号			正解	備考
問 1	設問 1	a	エ	
		b	イ	
		c	ア	
		d	エ	
		e	ア	
	設問 2	f	ア	
		g	ア	
		h	イ	
		i	エ	
		j	エ	
問 2	設問 1	a	オ	
		b	オ	
		c	エ	
		d	ウ	
		e	イ	
	設問 2	f	イ	
		g	イ	
	設問 3	h	イ	
		i	ウ	
問 3	設問 1	a	ウ	
		b	ウ	
		c	イ	
		d	エ	
		e	ウ	
	設問 2	f	ウ	
		g	イ	
		h	カ	
		i	ウ	
		j	ウ	
問 4	設問 1	a	ウ	
		b	ア	
	設問 2	c	ア	
		d	オ	
		e	カ	
		f	ア	
		g	イ	

問番号			正解	備考
問 5	設問 1	a	ウ	
		b	エ	
	設問 2	c	イ	
		d	エ	
		e	ウ	
		f	ウ	
		g	エ	順不同
		h	イ	
		i	ア	
	設問 3	j	イ	
		k	ア	
		ℓ	オ	
		m	ア	
		n	ウ	
	設問 4	o	イ	
		p	オ	
問 6	設問 1	a	ウ	
		b	ア	
		c	オ	
		d	キ	
	設問 2	e	ウ	
		f	イ	
		g	ア	
	設問 3	h	オ	
		i	ア	
		j	イ	
		k	ウ	
		ℓ	エ	
	設問 4	m	ク	
		n	ア	
		o	カ	
		p	ア	
問 7	設問 1	a	エ	
		b	ウ	
		c	エ	
		d	エ	
	設問 2	e	イ	
		f	ア	
		g	イ	
		h	エ	
	設問 3	i	ウ	
		j	オ	
		k	イ	
		ℓ	エ	
		m	エ	

問 1

出題趣旨

新市場への進出に際して必須である市場分析では、将来予測のために時系列分析や回帰分析などの統計手法が用いられることがある。

本問では、清涼飲料の消費量分析を題材に、グラフの特徴を読み取る能力と、代表的な統計手法である重回帰分析を活用する能力を問う。

問 2

出題趣旨

ソフトウェアパッケージの導入方法としては、ライセンス契約と ASP 契約がその代表格である。

本問では、グループウェアの導入を題材に、これら二つの方法の特徴やそれぞれの費用算出方法、そして両者の利害得失に関する理解を問う。

問 3

出題趣旨

定量データの分析では、集計表を使って全体の大まかな傾向をつかみ、更にクロス集計表を使って様々な角度から詳細な分析を行うことがある。

本問では、食品スーパーの売上分析を題材に、集計表とクロス集計表を使って、データをマクロとミクロの両方の視点で分析する能力を問う。

問 4

出題趣旨

ネットワークの運用管理業務の対象は、個々のネットワーク機器からセキュリティ管理に至るまで広範囲に及ぶ。

本問では、複数の部署を抱える事業所のネットワークを題材に、ネットワークの物理構成に関する理解と、部署間でのアクセス制御の実装能力を問う。

問 5

出題趣旨

システム開発に当たって、初級システムアドミニストレータには、業務要件をデータや処理に関する要件の形に整理することが求められる。

本問では、レンタカー会社の予約システムを題材に、既存システムを基にした新規システムの開発に当たって、業務要件を E-R 図や DFD を使って記述する能力を問う。

問 6

出題趣旨

生産計画においては、作りすぎによる廃棄と、逆に生産不足による機会損失とを最低限に抑える必要がある。

本問では、菓子メーカーにおける生産計画を題材に、各種のデータを活用することによってその精度向上を図る能力を問う。

問 7

出題趣旨

将来予想を立てるために、何らかのモデルを想定した試算を行うことが多くある。

本問では、健康増進プログラムの実施費用の試算を題材に、必要なデータをデータベースから抽出し、想定したモデルを表計算ソフトによって実装する能力を問う。